



「ゆめぴか通信」は、地域で働く看護職に向けて、鹿児島県看護協会保健師職能委員が作成し、情報発信する機関誌です

令和3年度 第1回保健師研修会（管理期等） テーマ「保健師の人材育成」

開催日：令和3年12月18日（土） 看護研修会館2階視聴覚室

開催方法：ハイブリッド方式 参加者：25名

コロナの第6波の感染拡大の懸念があり初めてオンライン開催。コロナ禍が続く中、健康管理危機対応や災害対応多様化する住民ニーズに対応しての保健師活動を展開するため保健師人材育成や現任教育について学びました。

1) 第1部 保健師長会報告 鹿児島県障害福祉課川崎誉代氏

九州ブロック研修会保健師長会報告 鹿屋保健所 嘉納恵美子氏

2) 第2部 保健師の現任教育の充実に向けた取り組み報告

①「県内自治体に勤務する保健師の状況や人材育成関連の事業、活動などの報告」 鹿児島県医師・看護人材課 林しおり氏

保健師の就業者数年々増加。全国で15位。7割が行政保健師。病院に就業する保健師が増加。市町村は経験年数ではバランスよく配置。県は中堅期が少ない。全国と比較すると介護保険部門の保健師が多い。平成27年3月保健師人材育成ガイドライン策定。事業評価検討会でガイドラインの見直しが課題。統括保健師等意見交換会でコロナの対応に追われ新任保健師の指導ができていない。メンタル面のフォローが必要等意見あり。

②「南九州市保健師人材育成マニュアル化の作成経過とその実践に取り組んで」

南九州市長寿介護課 福元睦美氏

令和1・2年度業務研究の中で人材育成マニュアルを作成。北九州市丹田講師による研修会を開催し全体のイメージを作り保健師の目指す像を共有。国のキャリアラダーを柱として全保健師コラム・座右の銘を作成。成長段階を確認するために見直し担当と見直し班が決まっている。マニュアルを作る過程が人材育成そのもの。実用化し8か月指導する側と指導される側が共有できる。

③「鹿児島市の保健師人材育成の現状と課題」 鹿児島市東部保健センター 遠藤順子氏

今回現場の声を届けたい。保健センターの現状は虐待や処遇困難事例の増加に新任から最前線に対応。保健センターでの人材育成としては気軽に語れる雰囲気づくり。帰ってきたら声をかけ続けるとかけてくれるようになる。保健センターは新任が多いため再任用保健師の力を借りている。育成トレーナーの配置。退職をされた先輩にお願いし時間を取って新任のじっくりと話を聞く時間を設けている。



令和3年度 第2回保健師研修会（新任・中堅期保健師）

テーマ「自治体や産業保健、医療機関、教育機関に勤務する保健師さんWEB上で集まろう！」

開催日：令和4年2月25日（金） 開催方法：オンライン 参加者：31名

コロナの急増でオンラインのみの研修会となりました。保健師同士のコミュニケーションも取りづらい状況です。自分自身の保健師活動を振り返り、これからの「保健師としての目指す姿」を考える機会となりました。

1) 講話「チーム活動を円滑にするコミュニケーションの実際」

講師：鹿児島大学教育学部附属教育実践総合センター准教授 臨床心理士 関山 徹先生

現代はVUCA（先行きの不透明で将来の予測が困難な状態）の時代。柔軟に進化し続ける組織をつくる必要がある。心理的安全性（話しやすさ、助け合い、挑戦、変わったことも言える雰囲気）をチームに持ち込む。基本的傾聴（感情の反映、うなずき、相槌、要約）、アドバイス（弱みを話す）をうまく行う。

2) グループワーク「自分の強みを見つけよう！自分の成長を感じよう！」

3人～7人ほどのグループワークで失敗談の報告・苦手の克服・強みを見つけることにつながりました。

令和4年度 「新任期・中堅期保健師の交流会」

テーマ「コロナ禍だからこそ語り合おう」

開催日：令和4年10月22日(土) 開催方法：ハイブリッド 参加者：7名

1) 報告「自治体に働く新任期保健師の現任教育の現状と心情に関する研究」

鹿児島県看護協会保健師職能委員 小城京子氏

市町村における課題として、教育マニュアルや教育体制整備の必要性が示唆され、県における課題としてコロナ禍の継続による業務圧迫からメンタルヘルスへの悪影響が懸念される。メンタルヘルスのフォロー体制構築も急務と考える。今後新任期保健師の心情を理解しながら、より効果的・組織的な人材育成を進めるために広域での相談や研修体制の整備ができるよう保健師職能として関係各所への働きかけや検討をすすめたい。

2) 意見交換「いまだからこそみんなで語り合おう」

助言者 鹿児島県看護協会会長 八田冷子氏

会場参加の方も1人1台ずつパソコンを利用しオンライン上語り合いました。保健師は技術チェックの機会がなくいつまでも自信がない疑心暗鬼の状態でもあるが、認めてもらえることで自信がついた、同期との仲を深めたい等オンライン上で知り合う機会となりました。振り返り、失敗したことで学んだこと切り替え声に出して言うこと等助言もいただきました。語り合うことの大切さを実感できた貴重な時間となりました。

～アンケートからのご意見～

日頃の業務において不安なこと困ったことを振り返ることができた。他の立場の人の意見を聞き、交流ができたので良かった。

令和3年度保健師職能委員

小田房子・松山智美・久保山直美・塩満芳子・
門田操・吉村理恵子・江口幸子・小城京子

令和4年度保健師職能委員

小田房子・門田操・吉村理恵子・江口幸子・
小城京子・郡山明美・鞍掛洋美・甲斐澄子



令和4年度 第1回保健師研修会のお知らせ

令和4年12月24日(土) オンライン 13:30～16:00

テーマ「Withコロナを見据えて、これからの保健師活動を語ろう」